

校 歌

作詞 宮 良 高 夫

作曲 糸洲長良

みーなみうるまのとこなつの
 しーまをめぐりてかもたかき
 なーがれゆたかなくろしおに
 めぐみあふれるはてるまよ
 このよきしまにうまれきてま
 なぶわれらのさちおおし

—

1

10

校歌

南うるまの常夏の
島をめぐりて香も高き
流れ豊かな黒潮に
恵みあふれる波照間よ
このよき島に生まれきて
学ぶわれらの幸多し

青海原の磯辺には
若き希望の花咲きて
ああうるわしきわが友よ
心明るく気も清く
知徳をみがき身をきとう
師弟和楽の波照間校

八重の潮路に風すさみ
時代の波は高くとも
学びの道にいそしみて
理想の郷をきずくべく
誠心の帆を上げて
強く正しく進まん